

エコアクション21 環境経営レポート

発行日：2026年5月25日
(活動期間：2025年4月～2026年3月)

有限会社東北オイルサービス

目次

1. 環境方針と環境経営方針	2	ページ
2. 組織の概要	3	ページ
3. 環境経営活動実施体制	5	ページ
4. 環境経営活動の計画	6	ページ
5. 環境経営目標の実績・結果	7	ページ
6. 環境経営活動計画の取組と評価 及び次年度への取組内容	8	ページ
7. 環境経営活動の中期目標	9	ページ
8. 法の遵守状況の確認及び評価の 結果並びに違反、訴訟の有無	10	ページ
9. 代表者による全体評価と見直し の結果	10	ページ
10. 組織の概要(情報公開)	11	ページ



1. 環境方針と環境経営方針

環境方針

有限会社東北オイルサービスは、廃棄物の処理を通じて循環型社会にあったエネルギー資源として提供し、事業者の生産活動の向上に寄与する。

環境経営方針

- 1、 社業である再生可能な資源のリサイクルや廃棄物処理を通して、廃棄物の減量を目指し、社会に貢献します。
- 2、 省エネルギー・省資源、環境美化等を含めた環境保全のための活動に取り組みます。
- 3、 危険物の作業処理場の安全運転、安全作業、安全処理に努めます。
- 4、 事業活動の中で環境汚染が生じる可能性があれば、未然に防止する努力をします。
- 5、 環境関連の法規を遵守し、環境保全への取組みに努めます。
- 6、 エコアクション21の活動を行い、継続的に改善します。

平成20年 5月 1日制定

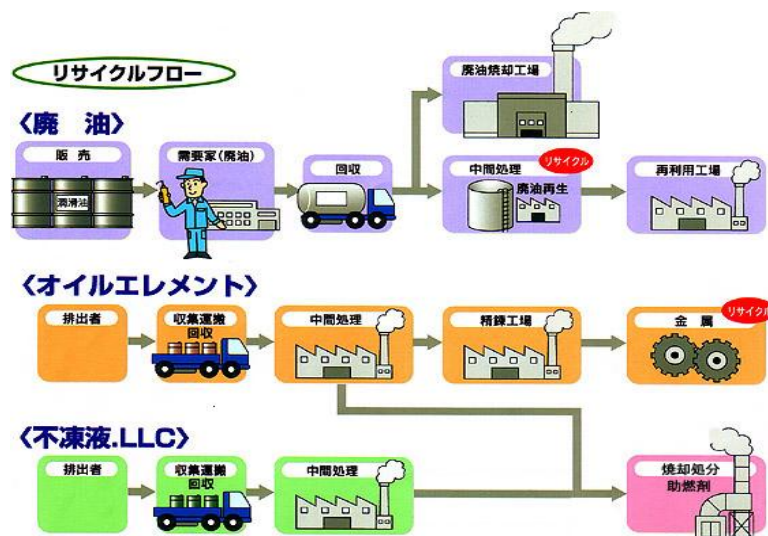
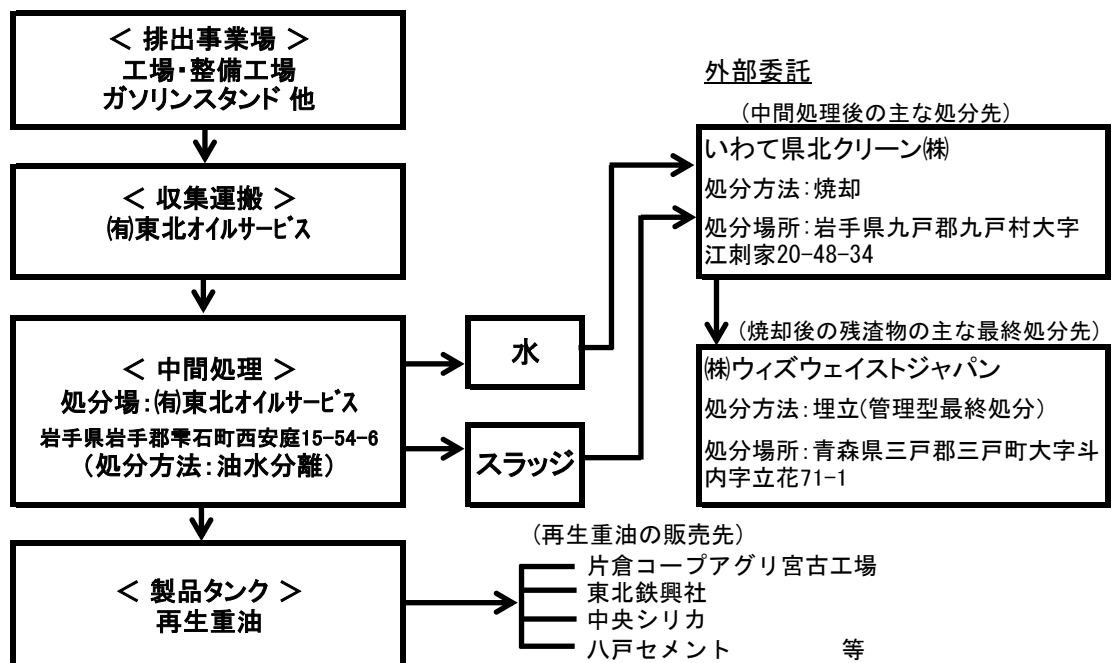
令和 3年 8月 1日改定

有限会社東北オイルサービス
代表取締役 兼田 忠康

8) 収集運搬車輛の一覧

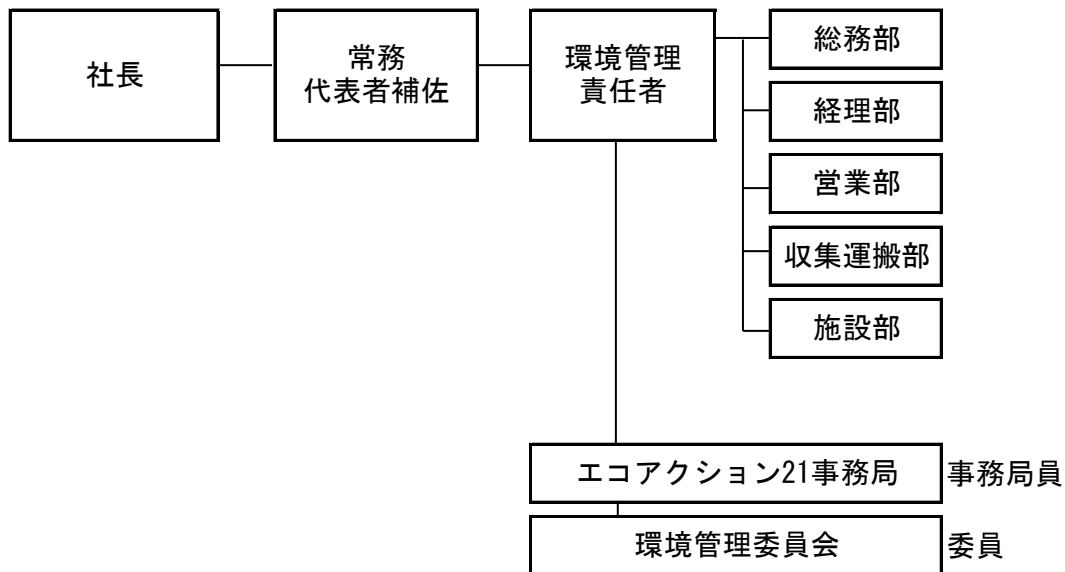
	車両番号	最大積載量	初年度登録	
①	岩手 800 は 18-36(タンク車)	4.7KL	平成27年	
②	岩手 800 す 97-37(タンク車)	3.1KL	平成27年	
③	岩手 800 す 97-33(タンク車)	3.0KL	平成27年	
④	岩手 800 は 24-31(タンク車)	4.7KL	令和 6年	
⑤	岩手 800 は 23-37(タンク車)	4.4KL	令和 4年	
⑤	岩手 400 と・1-88(3tトラック)	3,000kg	平成29年	
⑥	岩手 100 す 79-32(6tトラック)	6,300kg	令和 2年	
⑦	岩手 800 す 50-78(タンパー)	2,400kg	平成 9年	

9) 廃油の処理工程及び最終処分までのフロー図



3. 環境経営実施体制

1) 役割と責任・権限



2) 役割と責任・権限

役割	担当者	責任・権限
代表者	社長	①環境方針の策定 ②環境管理責任者を任命する。 ③環境管理責任者からの報告を受け、全体見直しを行う。 ④取組に対する資源を用意する。 ⑤課題とチャンス明確化 ⑥実施体制の構築
代表者補佐	常務	①代表者不在時代表者代行
環境管理責任者	課長	①代表者に代わってシステムを構築し運用する。 ②代表者に結果を報告する。 下記項目を部門内で実施する。 ③必要な教育訓練を計画し実施する。
各部門責任者・環境管理委員会	部門責任者・環境管理委員	①省資源、省エネ、節水を奨励し実施する。 ②EA21目標達成の取組を推進し、チェックを行い環境管理責任者の了承のもと改善を行う。 ③苦情等の対策・予防処置の経過、結果の報告を受け改善を図る。 ④公害防止、緊急事態への予防処置を行う。
エコアクション21事務局	1名	①地域住民、関連機関からの苦情等の窓口業務を行う。 ②苦情への対策・予防処置対策を行う。 ③代表者に代わって環境管理責任者と共にシステムを構築し運用する。
従業員	従業員全員	①部門責任者のもと、省資源、省エネ、節水に努める。 ②EA21取組に関する教育訓練を受ける。

< EA21事務局及びコミュニケーション窓口連絡先 >

住 所 : 岩手県岩手郡雫石町西安庭第15地割54番地6

T E L : 019-692-1125

F A X : 019-692-1119

4. 環境経営計画（2025年度 2025年4月～2026年3月）

環境項目	環境経営目標	内容
環境負荷低減	購入電力 (2022年度実績値)	<ul style="list-style-type: none"> ・事務所及び休憩所、処理工場で必要のない電気は消灯し、使用していない電気コンセントは抜く。 ・エアコンの設定温度はできるだけ28度以上に設定し、暖房は20度以下にする。
	軽油使用量 (2022年度実績値)	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブ、アイドリングストップ等により軽油使用量を削減する。 ・月毎の車両の燃料使用量及び走行距離を把握し各運転手の意識を高める。
	灯油使用量の把握及び削減 (2022年度実績値)	<ul style="list-style-type: none"> ・暖房の温度設定を20度以下にする。 ・工場の稼働に無駄がないように努める。
	ガス使用量の把握及び削減 (2022年度実績値)	<ul style="list-style-type: none"> ・ガス使用節約の張り紙をして、意識を高める。 ・必要最低限のガス使用量に努める。
	水使用量の把握及び削減 (2022年度実績値)	<ul style="list-style-type: none"> ・節水の張り紙をして、意識を高める。 ・必要最低限の水使用量に努める。
	廃棄物量の把握及び削減削減 (2022年度実績値)	<ul style="list-style-type: none"> ・コピー用紙の両面使用に努め再利用できるものは再利用する。 ・ごみの分別をきちんとする。 ・事務用品等、詰め替え使用可能なものを積極的に使用する。
	オイル流出ゼロ	<ul style="list-style-type: none"> ・荷卸しの際は必ずタンク内の残量を確認する。 ・危険物取扱中は、その場を離れないこと。
	化学物質量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・適正管理に努める。
環境製品	再生重油普及への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・原料である廃油の再生利用の向上に努める。 ・廃棄物が貴重な原料であることを意識づける。
環境に有益な取り組み	環境美化への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・社内の清掃、草刈はもちろん、沿道の清掃等を行う。
	廃油回収	<ul style="list-style-type: none"> ・廃油の回収及び処分（リサイクル）を行い廃棄物の減量に努める。
その他の取り組み	環境教育	<ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物協会開催の講習会等への参加。

※従業員が10人と少ないことから、日程は通年、責任者は環境経営責任者です。

5. 環境経営の目標と結果

環境目標	目標内容	単位	目標値	2023年度実績値		2024年度実績値		2025年度実績値	
			基準年	2023. 4月～		2024. 4月～		2025. 4月～	
			2022年度実績値	2024. 3月		2025. 3月		2026. 3月	
			2022. 4月～ 2023. 3月	実績値		実績値		実績値	
				結果	目標達成率	結果	目標達成率	結果	目標達成率
CO2 排出量 削減	消費電力量削減	kg-CO2	13, 229. 04	○	12, 511. 49	○	12, 223. 20	○	11, 900. 06
					105. 70%		108. 23%		111. 17%
	運搬車両の軽油 使用量削減		117, 410. 64	×	124, 985. 52	×	122, 490. 66	×	126, 329. 70
					93. 90%		95. 85%		92. 94%
	ガス使用量削減		120. 50	×	123. 30	○	106. 23	○	97. 50
				97. 70%		113. 43%		123. 59%	
	灯油使用量削減		44, 190. 03	○	41, 650. 23	○	41, 700. 03	○	39, 755. 34
					106. 10%		106. 00%		111. 15%
	CO2合計		174, 950. 21	×	179, 270. 54	×	176, 520. 12	×	178, 082. 60
排水量削減		m ³	593. 00	×	747. 00	○	588. 00	×	627. 00
					79. 40%		100. 85%		94. 58%
一般 廃棄物 削減	可燃、不燃ゴミ削減、 リサイクル、分別	kg	81. 00	○	61. 00	○	72. 00	○	50. 00
					132. 80%		112. 50%		162. 00%
廃油回収量		t	3, 412. 00	○	3, 691. 00	○	3, 652. 55	○	3, 529. 99
					108. 18%		107. 05%		103. 46%

※購入電力のCO2排出係数は、2020年度の東北電力の実排出係数 0.528kg-CO2/kwhを使用しました。

※購入電力は、事務所及び処理施設全ての合計数量です。

※一般廃棄物の実績値は単純焼却の数量です。

※達成率＝(目標値÷実績値)×100で計算しています。

※2023年度から2025年度までは、基準年を2022年度とします。

6. 環境経営の取組と評価及び次年度への取組内容

○環境活動の取組は、2022年度の実績値を目標として活動しました。

① 温室効果ガスの削減

1) 消費電力（達成率：111.17%）

- ・ 電力使用量の削減目標は、達成することができました。
- ・ 2023年にエアコンの買い替えを行い省電力となったのも要因と思われます。
- ・ 工場の稼働時間に無駄がないようにしました。
- ・ 照明は、必要な時のみの使用を徹底しました。
- ・ 使用しない電気製品はコンセントを抜き電力使用に無駄がないようにしました。
- ・ 節電の意識は定着しています。次年度も目標達成できるよう努めます。

2) 灯油（達成率：111.15%）

- ・ 灯油使用量の削減目標は、達成することができました。
- ・ 灯油使用量の大部分が処分場の機械の燃料になりますが、残業時間の減少及び休日の増加が要因だったと思います。また、工場の機械の稼働に無駄がないようにしました。
- ・ 冬期の暖房使用時の温度設定を20度もしくは20度以下に設定し灯油使用に無駄がないようにしました。次年度も灯油使用量の削減に努め、目標達成できるよう努めます。

3) 軽油（達成率：92.94%）

- ・ 軽油使用量の削減目標は、達成することができませんでした。
- ・ 未達成の要因として、基準年より車両が1台増車していることが挙げられます。エコドライブの意識は定着していますので、今後もエコドライブを継続します。

4) ガス（達成率：123.59%）

- ・ ガス使用量の削減目標は、達成することができました。
- ・ 夏場は、ガスを使用しないよう元栓を締めています。
- ・ ガスを使用する際は最小限の使用に努めました。使用量が多くなる冬場もガスの使用量を最低限にするよう努めました。

② 排水量（達成率：94.58%）

- ・ 水使用量の削減目標は、達成することができませんでした。
- ・ 工場のボイラー冷却に使用する水が主になります。
- ・ 洗車時、トイレ使用時、手洗い等の水使用時も節水に努めました。従業員の節水に対する類式は定着しています。

③ 廃棄物の排出量（達成率：162.00%）

- ・ 廃棄物排出量の削減目標は、達成することができました。
- ・ ごみの分別を徹底し、なるべくごみが出ない商品の購入に努めました。特に紙ごみの分別を徹底しリサイクルに努めました。
- ・ 次年度も分別を徹底し、ごみの削減に努め目標達成できるよう努めます。

④ 環境配慮製品：再生重油普及への取組み

- ・ 再生重油の原料である廃油の再生利用向上のため、油水（含油水）も回収し油分の再生利用に努めている。更に、再生重油の品質向上のため、油水分離機のストレーナーのメッシュを細かいものにし、質の良い再生重油の生産に努めています。
- ・ 廃油（廃棄物）を再生利用し、資源を有効活用していることを従業員に認識させています。

⑤ 廃油再資源化（達成率103.46%）

- ・ 廃油の再資源化は、目標達成することができました。
- ・ 質の良い再生重油を多く供給することができました。

○環境活動の次年度への取組

2025年度の活動で目標達成できたのは電気、ガス、灯油、廃棄物、廃油再資源化の5項目、未達成は、軽油、水の2項目でした。

従業員の活動に対する意識は定着しています。

次年度もエコアクションの活動をしっかり行い、目標達成が多く出来るよう取組みます。

7. 環境経営目標

環境目標	目標内容	単位	基準年度 (2022年度実績値)	2023年度～2025年度の目標値		
			2022年4月～ 2023年3月	2023年度 2023年4月～ 2024年3月	2024年度 2024年4月～ 2025年3月	2025年度 2025年4月～ 2026年3月
			基準値	目標値	目標値	目標値
CO2 排出量 の削減	消費電力量 の削減	kg-CO2	13,229.04	13,229.04	13,229.04	13,229.04
	運搬車輛の 軽油使用量 の削減		117,410.64	117,410.64	117,410.64	117,410.64
	ガス使用量 の削減		120.50	120.50	120.50	120.50
	灯油使用量 の削減		44,190.03	44,190.03	44,190.03	44,190.03
	CO2合計		174,950.21	174,950.21	174,950.21	174,950.21
排水量削減		m ³	593.00	593.00	593.00	593.00
一般廃棄 物量削減	可燃・不燃 ゴミの削減、 リサイクル、分別	kg	81.00	81.00	81.00	81.00
廃油回収量		t	3,412.00	3,412.00	3,412.00	3,412.00

※2023年度から中期目標を見直ししています。（目標値：2022年度実績値）

結果が、実績値と大幅に異なるまで目標値は変更しません。

※一般廃棄物の実績値は単純焼却の数量です。

※購入電力のCO2排出係数は、2020年度東北電力の実排出係数0.528kg-CO2/kwhを使用しています。（環境省報告発表）

※購入電力は、事務所及び処理施設全ての合計数量です。

8. 法の遵守と違反の有無

環境関連法規チェック表にて確認を行った結果、法規に違反はありません。また、苦情や訴訟に関する苦情受付記録簿を確認しましたが、過去事例はありません。
行政からの指摘事項も、過去ありません。

廃棄物処理法	○
消防法	○
水質汚濁防止法	○
労働安全衛生法	○

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

2025年度の活動で目標達成できたのは、「電気使用量の削減」、「ガス使用量の削減」、「灯油使用量の削減」、「廃棄物の削減」、「廃油の再資源化」の5項目でした。

前年と比較すると目標達成項目が1項目減りましたが達成項目が多かった。

前年同様に「廃油の再資源化」の達成については、再生重油の供給及びリサイクルの資源化に貢献できたと思います。今後も質の良い再生重油を供給できるよう努めます。

目標未達成だった2項目については、是正措置を講じ、次年度は目標達成できるよう努めます。

エコアクションの活動は定着しています。引き続きエコアクションの活動をしっかり行い環境負荷を削減する取り組みを行っていきます。

<次年度への見直し点>

2026年度の活動から3年間は目標値の見直しとなります。

目標達成できなかった軽油使用量の削減に重点をおき、2026年度も従業員一同エコアクションの活動に取り組みます。



10. 組織の概要（情報公開）

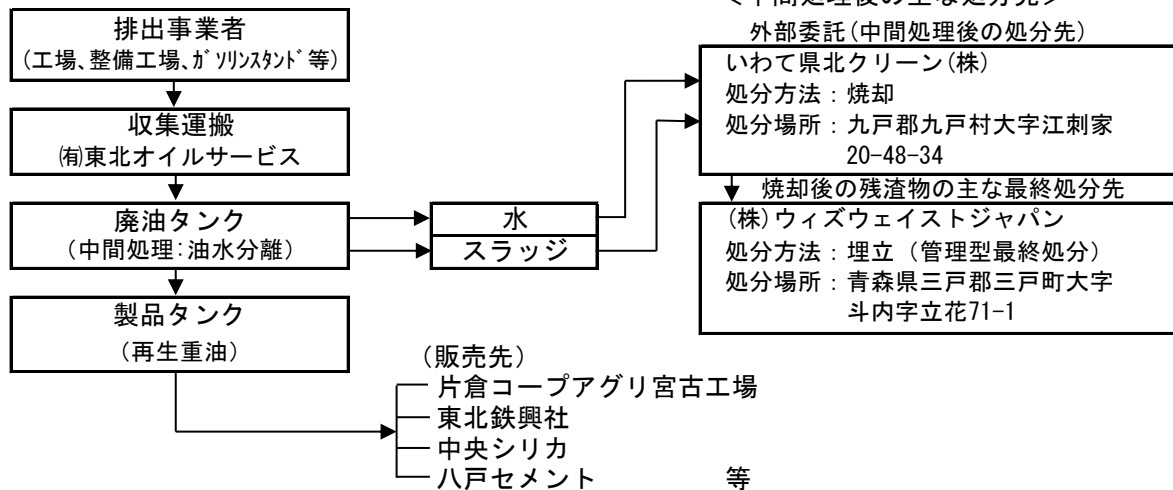
事業所名		有限会社東北オイルサービス				
代表者名		代表取締役 兼田 忠康				
所在地		岩手県岩手郡雫石町西安庭第15地割54番地6				
環境管理責任者		川口 忍				
エコアクション21担当者		小笠原 留美				
連絡先		電話	019-692-1125	FAX	019-692-1119	
		E-mail	oil-info@tohoku-oil-s.jp			
		URL	http://tohoku-oil-s.jp			
事業活動の内容		ガソリンスタンド、自動車整備工場、工場等から排出される廃油の収集運搬及び処分（リサイクル）と、廃エレメント（金属くず）、廃プラスチック類、廃アルカリ、汚泥等の収集運搬を行っております。				
事業の規模	事業年度	2022度(単位:t)	2023度(単位:t)	2024度(単位:t)	2025度(単位:t)	
	売上高(単位:千円)	122,090	133,090	146,390	16,299	
	(産廃)廃油収集運搬量	3,985.5	3,934.7	3,872.1	3,780.4	
	(特管)廃油収集運搬量	67.5	65.3	62.2	62.8	
	(産廃)廃棄物金属くず収集運搬量	111.8	97.1	103.6	106.4	
	(産廃)プラスチック類収集運搬量	33.0	27.0	25.9	28.8	
	(産廃)廃アルカリ収集運搬量	88.3	79.7	94.9	84.5	
	(産廃)汚泥	98.7	100.3	103.6	114.0	
	(産廃)廃酸	0.0	0.1	0.1	0.2	
	(産廃)ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	0.2	0.1	0.2	0.1	
	(産廃)木くず	0.1	0.1	0.0	0.0	
	(特管)強酸	0.1	0.0	0.0	0.0	
	(産廃)廃油処分量	3,724.0	3,618.3	3,591.7	3,462.5	
	(特管)廃油処分量	74.5	72.8	60.9	67.5	
社員・従業員(名)	10	10	10	10		
法人設立年月日	平成5年7月		資本金	350万円		
許可の内容	許可名/許可番号	許可の有効年月日		事業計画・事業の範囲(事業区分、廃棄物の種類)		
	岩手県産業廃棄物収集運搬業 00301007476	許可	令和5年8月6日		廃油、汚泥、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、がれき類、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	
		有効	令和10年8月5日			
	岩手県特別管理産業廃棄物収集運搬業 00301007476	許可	令和5年8月6日		廃油(揮発油類、灯油類及び軽油類に限り、特定有害産業廃棄物であるものを除く)、廃酸(水素付2.0以下)	
		有効	令和10年8月5日			
	岩手県産業廃棄物処分業 00321007476	許可	令和5年8月6日		廃油(特別管理産業廃棄物であるものを除く)	
		有効	令和10年8月5日			
	岩手県特別管理産業廃棄物処分業 00351007476	許可	令和5年8月18日		廃油(揮発油類、灯油類及び軽油類に限り、特定有害産業廃棄物であるものを除く)	
		有効	令和10年8月17日			
	青森県産業廃棄物収集運搬業 00201007476	許可	令和6年10月2日		廃油(特別管理産業廃棄物であるものを除く)	
		有効	令和11年9月16日			
	青森県特別管理産業廃棄物収集運搬業 00251007476	許可	令和6年10月2日		廃油(揮発油類、灯油類及び軽油類に限り、特定有害産業廃棄物であるものを除く)	
		有効	令和11年9月16日			
	秋田県産業廃棄物収集運搬業 00506007476	許可	令和6年9月2日		廃油(特別管理産業廃棄物であるものを除く)	
有効		令和11年8月22日				
秋田県特別管理産業廃棄物収集運搬業 00556007476	許可	令和6年9月2日		廃油(揮発油類、灯油類及び軽油類に限り、特定有害産業廃棄物であるものを除く)		
	有効	令和11年8月22日				
宮城県産業廃棄物収集運搬業 00400007476	許可	令和4年11月5日		汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、金属くず(これらのうち石綿含有産業廃棄物を除く)		
	有効	令和9年11月4日				
宮城県特別管理産業廃棄物収集運搬業 00450007476	許可	令和4年11月5日		廃油(揮発油類、灯油類及び軽油類に限る)、廃酸(水素付濃度指数2.0以下のものに限る)		
	有効	令和9年11月4日				
設備	設備名	能力・産廃の種類	台数	設備名	能力・産廃の種類	台数
	タンク車	4.7KL(産廃、特管)	2	トラック	6,300kg(産廃、特管)	1
	タンク車	4.4KL(産廃、特管)	1	トラック	3,000kg(産廃、特管)	1
	タンク車	3.1KL(産廃、特管)	1	ダンパー車	2,400kg(産廃)	1
	タンク車	3.0KL(産廃、特管)	1	車両合計		8

受託した廃油の処理量

2025年度（2025年4月～2026年3月）

処理方法等	廃棄物等種類	処分場所	処分方法	処理量(t)
油水分離	廃油（産業廃棄物）	(有)東北オイルサービス	油水分離	3,462.5
	廃油（特別管理産業廃棄物）	(有)東北オイルサービス	油水分離	67.5
収集運搬量合計				
中間処理 (リサイクル)	廃油	油水分離		3,530.0
中間処理合計				
中間処理 後の 産業廃棄物	再 資 源 化 等	廃油	(委託) いわて県北クリーン(株) 処分方法：焼却	13.2
			(委託) (株)オイルプラントナトリ 処分方法：混合	282.3
			(委託) 太平洋セメント(株)大船渡工場 処分方法：焼却	104.8
			(売却) 再生重油として売却	3,129.7
中間処理後処分量合計				3,530.0

<処理方法・処理工程>



廃棄物の処理料金については弊社ホームページ <http://touhoku-oil-s.jp> もしくは、電話019-692-1125 までお問い合わせ下さい。

組織図

